

から10箇所、地域指定をするとして。科学的有望地は、火山や活断層の近くなどを除外し、これ以外は適地であるとし、廃棄物の海上輸送に有利な海岸から20キロ以内は、より適地の高い地域に分類している。

今年度中に地域指定をするが、地層処分の研究センターがある幌延町としては、どう対応するのか。

町長 幌延町には核の持ち込みを認めない、使用をしないこと等を定めた深地層研究に関する協定書と、町内に放射性廃棄物の持ち込みを認めない深地層研究の推進に関する条例がある。科学的有望地については、あくまで社会科学の観点を除いた技術的観点により揭示されるもの。冷静に対応する。

町長 幌延町の協定書、いわゆる三者協定に基づいて、最終処分場は受け入れないと表明するのか。

町長 研究機関として、我々の町として、持ち込まないという約束をしている。

質問 文献調査も受け入れ

ないということか。
町長 文献調査も受け入れない。

質問 NUNMOとの共同研究などが入って来る可能性があるが。

副町長 処分事業と研究事業は明確に区別して進められる。地層処分の研究については協力していく。

質問 研究と処分の区分は現実には難しい。例えば沿岸域の10キロ以内には自治体の権限はないのでは。

町長 私が決められることではないし、どういう形になるのかも話は聞いていない。処分の研究も、きちんと分離されているという確証があれば、受けるとい



スタンスもある。
いのちとくらしの問題について

質問 冬場の生活支援として、更に低所得者や生活保護世帯への冬期加算は考えられないか。

町長 今までどおり進めていきたい。

質問 今、無料低額診療が話題となっているが、これらを導入する考えはないか。

町長 無料低額診療については、自治体病院等が実施している事例は少ない。

質問 民間の診療機関では、今盛んにやっている。

町長 我が町で実行するのは難しい。

質問 定住促進については6月議会でも触れて来たが、民間の空き家利用状況はどうか。

町長 空き家及び空き地バンク運用に向け、上半期を目途に情報提供したい。

質問 もっと強力に進めては。
町長 少しは動き出した。農家の空き家利用にはまだ手をつけられていない。

第5回 幌延町議会 臨時議会 8月17日

◎議案第1号
財産の取得について

○ゲレンデ整備車1台
契約金額 1千6百44万3千円で、JFEプラントエンジニア株式会社と契約。

◎現在使用中の車の導入年度と稼働時間は。
◎平成4年導入で、5千2

百79・1時間稼働。
◎種類、メンテナンスは。
◎車種はプリノートハスキー種で、メンテナンスも地元で出来るようにした。
◎現在使用中の車はどうなのか。
◎ホームページ等で公募し、売却を予定している。



議会の動き

- 8月22日 ▶ 西天北五町衛生施設組合議会
- 8月23日～24日 ▶ 議会報研修会 (編集委員・札幌市)
- 9月2日 ▶ 第3回議会運営委員会
- 9月2日 ▶ 第9回まちづくり常任委員会
- 9月2日 ▶ 第6回全員協議会
- 9月12日～13日 ▶ 第6回幌延町議会定例会
- 9月13日 ▶ 第4回情報推進常任委員会
- 9月24日 ▶ 議会報告会及び意見交換会 (問寒別・幌延)
- 10月3日 ▶ JR宗谷本線に関する意見交換 (議長・名寄市)
- 10月4日～6日 ▶ 衆議院小選挙区区割り改定に関する要請 (副議長・東京)
- 10月6日～7日 ▶ JR北海道・宗谷本線の存続を求める要請 (議長・札幌市)
- 10月7日 ▶ 第16回議会報編集委員会
- 10月13日 ▶ 第5回情報推進常任委員会
- 10月13日 ▶ 第10回まちづくり常任委員会
- 10月13日 ▶ 第7回全員協議会
- 10月13日 ▶ 第17回議会報編集委員会